

令和4年度
第27回地域福祉実践研究セミナーin愛媛・いまばり
第19回四国地域福祉実践セミナーin愛媛・いまばり
第7回いまばり地域福祉フォーラム

(開催要項)

【テーマ】ここで生きたい、一人ひとりのしあわせづくり

1. 開催趣旨

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法が改正されるなど地域福祉をめぐって大きな転機を迎えており、今日の地域福祉を推進するうねりの一端は、この「地域福祉実践研究セミナー」が創りだしてきた成果でもある。

今回のセミナーの舞台となる今治市は、愛媛県の北東部に位置し、市街地がある平野部や緑豊かな山間部、世界有数の多島美を誇る島々で形成される島しょ部で構成され、村上水軍城址やしまなみ海道を中心とした観光資源、また、造船を中心とした海事都市、ブランド戦略により新たな飛躍を遂げたタオルの産地として、国内外に広く知られている。2005年に12市町村による大合併後17年が経過した現在、中心市街地の空洞化や島しょ部・中山間地域における過疎化に伴い地域行事等の継続が課題となっている。社会福祉協議会では、旧今治市内16の公民館に校区・地区社協事務局を置き、旧11町村には地域福祉の活動拠点として社協支部を設置し、地域福祉活動の推進を行っている。また、共同募金事業においては、12の支部委員会を設置し、地域の課題解決に向けた福祉活動と一体的な取り組みを行っている。最近では、移住者や外国人が増えており多文化共生を目指した福祉のまちづくり実践に取り組んでいる。

本セミナーは27回目を迎え、今回、第19回四国地域福祉実践セミナー、第7回いまばり地域福祉フォーラムと合同開催となる。四国地域福祉実践セミナーは2003年から毎年、四国四県を巡回し開催する市町村社協が横に繋がりネットワークを構築している。多様な立場からの実践報告と専門職や住民参加が地域文化とも混じり合う学びの場である。また、いまばり地域福祉フォーラムは、地域福祉の理解と関心を高めるための講演や活動報告を行っている。今回のテーマは「ここで生きたい、一人ひとりのしあわせづくり」として、自然、風土の中で育まれた住民や地域の力に寄り添い、それぞれの地域生活課題の解決に取り組んできた四国及び今治の実践を共有、討議し、これからの地域共生社会に向かう地域福祉の展開、「参加支援」と「地域づくり」について今までの実践からその普遍性を探っていく。

○本セミナーの特徴

- 地域福祉に関わる様々な分野の実践者が住民とともに交流し討議することを通して、今後の地域福祉の実践に新たな見通しを拓きます。
- 地域福祉の先駆的な実践現場に集い、現場の実践を分析することによる臨場感に富んだ研修の場を提供します。
- 各分野のワークショップでは、コミュニティソーシャルワークを中心とし、参加者自身が課題を明らかにし、その課題解決の方策をアドバイザーとともに考察し、企画力・実践力の向上を図ります。
- ワークショップの達成課題を明らかにし、全体フィードバックでのプレゼンテーション・総括を通して、コミュニティソーシャルワーク・スキルの向上を図ります。
- 地域福祉の分析および課題解決の企画を通して、新しいトータルケアシステムとしての地域福祉構築とその実践方法としてのコミュニティソーシャルワークのあり方を探ります。

2. 開催日程・会場

令和4年8月25日(木)、26日(金)、27日(土)

※新型コロナ対策として、今治市民は会場参加、市外の方はオンライン参加となります。

(今治市民はオンライン参加も可)

	内容	会場	定員
1日目	開会式、てい談、シンポジウム	今治市総合福祉センター (ハイブリッド方式)	会場 200 人、 オンライン 300 人
2日目	分科会 1 ~ 4	今治市総合福祉センター (ハイブリッド方式)	会場 50 人、 オンライン 50 人
	特別分科会	今治市総合福祉センター (オンライン方式)	オンライン 150 人
3日目	分科会報告、総括講演、セミナー俳句表彰、閉会式	今治市総合福祉センター (ハイブリッド方式)	会場 100 人、 オンライン 200 人

3. 主催

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所、第19回四国地域福祉実践セミナー実行委員会
社会福祉法人 今治市社会福祉協議会

4. 後援

今治市/日本地域福祉学会/愛媛県社会福祉協議会/香川県社会福祉協議会/徳島県社会福祉協議会/高知県社会福祉協議会/聖カタリナ大学/松山東雲女子大学/順不同(予定)

5. 参加対象者

社会福祉協議会役職員、日本地域福祉学会会員、社会福祉施設役職員、民生委員・児童委員、行政職員、学校関係者、地域保健・医療関係者、学生・大学院生、その他社会福祉に関心のある方

6. 参加費

	オンライン	
2日以上	一般	3,000 円
	学生	1,000 円
	団体	10,000 円
8月25日 (1日目) のみ	一般	2,000 円
	学生	1,000 円
	団体	5,000 円

※赤い羽根共同募金財源で行うため、今治市民は参加費無料。

7. 日程・内容

8月25日(木) 今治市総合福祉センター4階ホール1.2 (ハイブリッド)

時間	内容
12:00	受付開始
13:00	<p>開会・あいさつ (主催者あいさつ) 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 第19回四国地域福祉実践セミナーin愛媛・いまばり実行委員長 琴平町社会福祉協会 会長 越智 和子 社会福祉法人今治市社会福祉協議会 会長 長野 和幸</p> <p>(来賓あいさつ) 今治市長 徳永 繁樹 氏</p>
13:20	今治市の地域福祉に関する紹介 (今治市社会福祉協議会)
14:00	<p>てい談 「ここで生きたい、一人ひとりのしあわせづくり」 ～これからの今治市のまちづくりについて～ 今治市長 徳永 繁樹 氏 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏 (進行兼) 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏</p>
15:00	休憩
15:15	<p>シンポジウム(四国地域福祉実践セミナー企画) 「ここで生きたい、一人ひとりのしあわせづくり」 ～四国の実践から、これからの地域福祉を創造する～ 〈コメンテーター〉 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏 〈コーディネーター〉 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏 〈シンポジスト〉 (香川県) 香川県社会福祉協議会 事務局長 日下 直和 氏 (徳島県) 美馬市社会福祉協議会 事務局長 佐和 良佳 氏 (高知県) 宿毛市社会福祉協議会 事務局長 中平 佳宏 氏 (愛媛県) 今治市社会福祉協議会 コーディネーター 島崎 義弘 氏</p>
17:30	終了

8月26日（金）第1分科会(10:00～12:30) 今治市総合福祉センター4階ホール2

分科会の概要

テーマ	子育て支援から世界につながる「今治・伯方島発信！地域共生社会プロジェクト」
会場	今治市総合福祉センター 4階ホール2（ハイブリッド）
内容	<p>今治市における外国人住民数は、2019年時点で3,542人と県庁所在地である松山市を上回る愛媛県で最も多い数となっており、「外国人相談窓口」の開設や外国人を対象とした日本文化交流の促進、日本語などの学習支援、創業支援などを通して、外国人が働きやすい・暮らしやすいまちを市として推進している。一方、外国人の生活面において、行政の施策だけでは、対応しにくいニーズもあり、市民レベルでも、外国人の支援や多文化共生に向けた取り組みが行われている。第1分科会では、外国人の生活ニーズに対応し、多文化共生の取り組みを進める実践活動について、現状や課題を整理し、今後の取り組みについて考える。造船業が盛んで外国人住民も多い今治市伯方島にある「鎮守の杜」では、外国籍の子どもを含めた学習支援の取り組みをスタートした。また、学習だけではなく野菜等の収穫体験やピザづくり等楽しい交流の機会も提供している。もともとこの集会所は、昭和30年代に建てられ保育所として使用されてきたが、子どもの減少により閉所となり、地元住民と「NPO法人創作クラブGrian」（田窪良子代表）がその場所を拠点に活動を展開している。当初は、自閉症の方など障がいのある方の日中の居場所となっていたが、コミュニティカフェ「HoToRi」をオープン。地域内外、幅広い世代の賑わいの場となっている。</p> <p>また、伯方島で外国人住民のサポートを行う保健師や関係機関、団体の取り組みも話題提供し、行政・民間との連携による多文化共生社会の取り組みを広げる。</p>
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 宮城 孝 氏 ・大正大学 社会共生学部社会福祉学科 教授 神山 裕美 氏 ・聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 教授 村岡 則子 氏
実践報告者	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人創作クラブGrian代表 田窪 良子 氏 ・今治市しまなみ振興局しまなみ住民課 課長補佐（兼）健康増進担当係長保健師 野間 かおり氏
関連機関	今治市観光課、今治市国際交流協会、HAKUNA MATATA
10:00～10:10	趣旨説明、多文化共生プロジェクトの取り組み紹介
10:10～10:30	今治市及び伯方島の概要と多文化共生に関する施策・取り組みの説明 今治市観光課、今治市国際交流協会、今治市伯方支所保健師
10:30～12:30	<p>実践報告・ディスカッション（合計50分）</p> <p>① NPO法人創作クラブGrian 田窪 良子 氏 （活動紹介ムービー 10分）</p> <p>② 今治市しまなみ振興局しまなみ住民課 課長補佐（兼）健康増進担当係長保健師 野間 かおり氏 ディスカッション、質疑応答、総括</p>

8月26日（金）第2分科会（13:30～16:00）今治市総合福祉センター4階ホール2

分科会の概要

テーマ	玉川の地域福祉の主体形成と主体の共創
会場	今治市総合福祉センター 4階ホール2（ハイブリッド）
内容	<p>玉川町で実践している、ふれあい茶屋、NPO法人玉川サイコー、玉川ボランティアネットワーク等の活動実践を通して、住民が主体的に動き、住民自らの問題発見や具体的な助け合い活動をしながら、「どのような仕組みが必要か」という提起していくといった住民の参加と、自治に根ざした地域福祉活動について実証化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい茶屋は、2009年からの第1期地域福祉活動計画策定のための住民座談会の中で、住民交流や買い物難民の問題があがり、その対応として住民主体でサロン活動や購買や食堂の運営を行ってきた、10年が過ぎた今でも実践活動を行っている。 ・NPO法人玉川サイコーは、2013年に法人化し、玉川「再考」「再興」「最高」を基盤に捉えながら、諸機関、団体と連携し、さまざまな企画をプロデュースし「催行」していくための役割を果たしていくことを目的に実践を行っている ・玉川ボランティアネットワーク、2006年に相互の連帯の輪の拡大を図るとともに単位グループの自主自立を促進し、地域福祉の推進を目的に組織化され、現在でも4団体が加入して実践を継続している。
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 原田 正樹 氏 ・新見公立大学 健康科学部地域福祉学科 教授 高杉 公人 氏
実践報告者	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい茶屋 代表 ・NPO法人玉川サイコー 代表 ・玉川ボランティアネットワーク 代表
13:30～13:40	趣旨説明
13:40～16:00	<p>活動紹介ムービー（10分）</p> <p>実践報告（各20分）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふれあい茶屋 ②玉川サイコー ③玉川ボランティアネットワーク <p>質疑応答</p> <p>総括</p>

8月26日（金）第3分科会（10:00～12:30）今治市総合福祉センター4階ホール1

分科会の概要

テーマ	子どものいのちと文化を守る実践活動
会場	今治市総合福祉センター 4階ホール1（ハイブリッド）
内容	<p>鳥生地域食堂れんこん（以下、れんこん）は、顔の見える関係づくりを通して、子どもから高齢者まで地域の全ての人の孤立（孤食）をなくす・防ぐ活動を鳥生地域内で実践している。発起人と地区社協、福祉活動専門員等での約1年の話し合いを経て、平成30年度から本格的に活動を開始し、令和元年度には気になる子ども・家庭（不登校など）の支援のための学習支援、令和2年度からは、子ども・家庭の情報共有や支援に関する協議のための「鳥生子ども家庭サポートネットワーク」を開始。令和3年度にはアパートの一室を活用し、常設の地域食堂をオープンした。日々、子ども及びその家庭の思いに寄り添いつつ、支援者間のつながりを着実に広げている。</p> <p>れんこんの実践は、地域において徐々に認知されつつあるが、財源の確保や人手不足、子ども及びその家庭へのよりよい支援の検討など課題も多くある。また、市内全体においても、子ども及びその家庭を日々支える社会資源が不足している状況であり、社会資源の開発も課題となっている。</p> <p>本分科会では、地域の子どもの及びその家庭を取り巻く地域生活課題を学び、フォーマル、インフォーマルが一体となって取り組む、孤立を防ぎ、いのちや文化を守る、地域での子育ての在り方を考える機会とする。</p>
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会事業大学 福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男 氏 ・松山東雲女子大学 人文科学部心理子ども学科 准教授 友川 礼 氏
実践報告者・発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥生地域食堂れんこん ボランティア代表 橋本 幸子 氏 ・鳥生地区民生児童委員協議会 会長 森田 こまえ 氏 ・今治市役所ネウボラ政策課 村上 敏久 氏 ・公益財団法人正光会今治病院 思春期メンタルサポート 出山 義洋 氏
10:00～10:10	趣旨説明
10:10～12:30	<p>活動紹介ムービー（10分）</p> <p>実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域食堂れんこん ボランティア代表 橋本 幸子 氏 ②鳥生地区民生児童委員協議会会長 森田こまえ 氏 ③今治市役所ネウボラ政策課 村上 敏久 氏 ④公益財団法人正光会今治病院 思春期メンタルサポート 出山 義洋 氏 <p>（②～④の方は、主にれんこんと他の支援機関との関係性や期待などを発表していただく。）</p> <p>質疑応答</p> <p>総括</p>

8月26日（金）第4分科会（13:30～16:00）今治市総合福祉センター4階ホール1

分科会の概要

テーマ	今治から発信 ケア・バイ・ザ・コミュニティ ～安心・楽しみ・暮らせる街をめざして～
会場	今治市総合福祉センター 4階ホール1（ハイブリッド）
内容	<p>今治市においても少子高齢化社会が急速に進む中、地域における支え合い機能や家族機能が低下している。そのような中で本分科会では様々な課題を抱える方と共に活動している実践を基に、それぞれが地域の一員として役割を持ち、互いに認め合うことで権利が尊重される地域づくりについて議論を深めたい。</p> <p>（社福）Sign（多機能型事業所パドル）では就労移行支援事業・就労継続支援B型などを通じて、障がい者の働く権利や自己実現、役割創造など権利擁護を幅広く捉え障がい者の自立支援を行っている。また、法人としても引きこもりの支援を行っており、多様な課題がある方への支援についても議論を深めたい。</p> <p>つどい場だんだんでは、認知症の方や統合失調症、難聴の方など老若男女が集う場となっている。活動を見ていくと利用者や職員、ボランティアなどの垣根を越えた繋がりが生まれることにより、利用者や職員にとっての居場所にも繋がっている。そのような、つどい場だんだんの双方向の活動が、繋がりを再構築し、生きたいと思える人生を後押ししている。そのような実践から社会的孤立への取り組みについて学ぶ。</p>
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・東京通信大学 人間福祉学部人間福祉学科 教授 田中 英樹 氏 ・聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 教授 釜野 鉄平 氏
実践報告者	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 Sign 理事長 正岡 弘樹 氏 ・つどい場だんだん 代表 保持 雅子 氏 ・くらしの相談支援室 センター長 八木 良太 氏
13:30～13:40	趣旨説明
13:40～16:00	<p>活動紹介ムービー（10分）</p> <p>実践報告（随時チャットで質問受付）（60分）</p> <p>報告1 「この街で楽しみ生きる」 社会福祉法人 Sign 理事長 正岡 弘樹 氏</p> <p>報告2 「いま、ここを生き合う」 つどい場だんだん 代表 保持 雅子 氏</p> <p>報告3 「繋がりの再構築を目指して」 くらしの相談支援室 センター長 八木 良太 氏</p> <p>休憩（現地質問受付）（10分）</p> <p>ディスカッション（30分）</p> <p>質疑応答・総括（30分）</p>

8月26日（金）特別分科会（10:00～16:30）今治市総合福祉センター研修室

分科会の概要

テーマ	地域共生社会政策における社協の役割を考える
会場	今治市総合福祉センター 2階研修室（オンライン）
内容	<p>これまで50年余りにわたって社会福祉協議会や地域福祉の実践と理論形成に尽力され、大きな功績を残しつつ今なお後進の指導に精力的に取り組まれているゲストスピーカーと研究所理事長により、地域福祉形成のこれまでの取り組みを回想するとともに地域共生社会時代における社協組織のあり方や今後の地域福祉の展開について語り、ご提言をいただく。</p> <p>10:00～10:15 趣旨説明 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏</p> <p>10:15～12:00</p> <p>○ 対談『社協活動の回顧から未来への地域福祉の展望を語る』</p> <p>—社協活動の発展と理論形成の過程を垣間見る— （社協活動と地域福祉論の継承と発展）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登壇者 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 元全国社会福祉協議会 事務局長 ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏 ◇ 日本社会事業大学 名誉教授 日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏 ● 進行 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 元全国社会福祉協議会 常務理事 渋谷 篤男 氏 <p>=休憩=</p> <p>13:00～14:30</p> <p>○シンポジウム「社協 ～新たな時代への挑戦～」</p> <p>お二人の提言を受け、現場の第一線にいる社協職員から社協（組織と人として）としての課題や目標について、これからの取組を議論していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コーディネーター 文京学院大学 人間学部 教授 中島 修 氏 元全国社会福祉協議会 常務理事 渋谷 篤男 氏 ● シンポジスト <ul style="list-style-type: none"> ◇ 富山県氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ◇ 宮崎県都城市社会福祉協議会 事務局長 大田 勝信 氏 ◇ 佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 副課長 小松 美佳 氏 <p>14:45～16:30</p> <p>○ワークショップ</p> <p>対談、シンポジウムを受け参加者で大いに討議する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コーディネーター 文京学院大学 人間学部 教授 中島 修 氏 <p>※参加者でセッションを行う。</p>

8月27日(土) 今治市総合福祉センターホール1.2 (ハイブリッド)

時間	内容
8:30	受付開始
9:00	ミニシンポジウム(分科会報告) 「ここで生きたい、一人ひとりのしあわせづくり」 コーディネーター 日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 原田 正樹 氏
10:50	休憩
11:00	総括講演 講師 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長 大橋 謙策 氏
12:00	セミナー俳句表彰
12:15	閉会式
12:30	終了

8. 申込方法 (問合せ・申込先)

①市内の方

社会福祉法人 今治市社会福祉協議会(担当:日和佐・近田)

〒794-0043 愛媛県今治市南宝来町1-9-8 TEL 0898-22-6018 FAX 0898-34-6915

※申込用紙に記入のうえ、FAX又は、今治市社会福祉協議会本部・支部に提出してください。

なお、今治市社協ホームページからもお申込できます。

※問合せの受付時間:8:30~17:30(土・日・祝日は除く)

②市外の方

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階

TEL03-3595-1121 FAX03-3595-1119

営業日時:平日9:30~17:30 土日祝祭日休業

※申込受付のホームページは6月23日以降に公表いたします。

9. 申込期間 令和4年6月23日(木) ~8月10日(水)

※新型コロナウイルス感染症の状況、台風(自然災害等)により、開催内容が変更となる場合があります。